

いしかわ

まちづくり News

No. 1

- 特集 都市計画道路山代栗津線バイパス部の完成 …1
- いしかわ広告景観賞について …4
- LAKUNA はくい オープン …5
- トレインパーク白山(白山市立高速鉄道ビジターセンター)の整備 …6
- 小松市安宅新地区土地区画整理事業 完成式 …7
- 山中温泉菊の湯周辺整備事業について …8

特集

都市計画道路山代栗津線バイパス部の完成

1 はじめに

加賀市の山代温泉地区は、開湯 1300 年の歴史と文化を有し、総湯・古総湯を中心とした魅力ある温泉街が形成されています。看板や建物の外観の統一による情緒ある景観の形成を図るとともに、宿泊施設と周辺商業・観光施設及び九谷焼などの伝統産業が連携し、活力ある温泉街づくりを推進しています。

都市計画道路山代栗津線は、九谷広場と合わせ、山代温泉への玄関口としての役割を担うだけでなく、大型車同士のすれ違いが困難な県道小松山中線のバイパスとしての機能を持つ重要な道路です。

現道の県道小松山中線のうち、山代東口交差点から山代中学校までの区間は、人家が連坦し、線形が悪いうえ、歩道が未整備の区間があることから、山代温泉へのアクセス向上や、山代小学校・中学校の生徒をはじめとする歩行者の安全・安心の確保を図るため、加賀市山代温泉神明町から上野町までの 1,070m について、平成 26 年度より事業を進め、令和 6 年 3 月 2 日にバイパス部 620m を供用開始しました。



▲位置図



▲平面図



▲大型車の通行状況(写真①)



▲歩道の未整備状況(写真②)

2 事業概要

路線名：都市計画道路 山代栗津線

事業箇所：加賀市山代温泉神明町～上野町地内

事業着手：平成 26 年度

延長：1,070m

(バイパス部 620m、現道拡幅部 450m)

計画幅員：14.0m

(車道 3.0m、停車帯 1.5m、歩道 2.5m)

3 まちづくりの取り組み

整備にあたっては、山代温泉の活性化を目的に、まちづくり活動を行っている「山代温泉お出迎え街道協議会」の方々に、山代東口交差点における歩道のデザインを企画して頂きました。

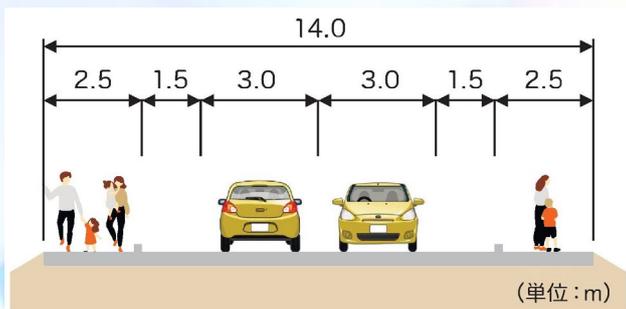
地元協議会のアイデアを歩道のデザインに取り込むことにより、観光客がそぞろ歩きを楽しめる歩行空間を整備することができました。

① 「五十音」の文字ブロックの考案

1093 年(平安時代後期)に山代温泉の薬王寺温泉寺の初代住職明覚上人によって日本語の「五十音図」が作られた歴史をふまえ、五十音の文字ブロックを考案しました。

② 山代温泉を彩る色の選定

歩道舗装の基調色には、江戸時代後期の山代温泉の建造物にみられる「ベンガラ色」を取り入れたほか、五十音の文字ブロックには、加賀地方の伝統的な色彩である「加賀五彩」を採用しました。



▲標準断面図



▲歩道デザインの企画の様子



▲設置した五十音の文字ブロック

4 橋名板揮毫

バイパス部には、尾俣川を横断する「がめ池橋」の整備が行われました。子どもたちに、道路や橋への愛着、興味を持ってもらうとともに、建設業へのイメージアップを図るため、橋の名前等を記す「橋名板」の揮毫を地元の山代小学校の児童に依頼し、揮毫してくれた4人に対し、感謝状を贈呈しました。



▲橋名板感謝状贈呈式の様子

5 おわりに

本年3月2日に完成を祝う会が、石川県知事、加賀市長など関係者列席のもと執り行われました。

当時、能登半島地震発生からわずか2ヶ月ということもあり開催が危ぶまれましたが、慎ましいなが

らも地元による獅子舞が演じられるなど、大いに盛り上がりました。

さらに3月16日には、北陸新幹線が県内全線開業しました。山代粟津線の開通効果と相まって、今後、山代温泉により多くの観光客が訪れることを期待しています。



▲バイパス部の完成を祝う会



▲完成写真（バイパス部）



▲開通状況

【問合わせ先】

石川県土木部都市計画課

TEL:076-225-1758

E-mail: toshikei@pref.ishikawa.lg.jp

いしかわ広告景観賞について

1 はじめに

屋外広告物は、景観を形成する重要な要素であり、無秩序に設置されると街の魅力を損ねてしまう一方、良質でデザイン性が高い広告物は訪れる人々にまちな表情として好印象を与えるものとなります。

そこで、石川県では、良好な景観形成につながる優れた屋外広告物を表彰する「いしかわ広告景観賞」を実施しております。

2 事業概要

いしかわ広告景観賞は、本県が全国に先駆けて、都市景観等の向上と屋外広告物に対する県民の関心を高めることを目的として、昭和63年から実施し、本年度で37回を迎えました。

【第37回いしかわ広告景観賞の概要】

主催：いしかわ広告景観賞実行委員会

(石川県、金沢市、石川県屋外広告業協同組合)

審査：審査委員長 大場吉美金沢学院大学名誉教授

表彰：知事賞（公共部門、民間部門） 2点

金沢市長賞 1点

石川県屋外広告業協同組合理事長賞 1点

各後援団体賞 9点



▲表彰式



▲受賞者による作品説明（表彰式）

3 受賞作品（第37回いしかわ広告景観賞）

・知事賞（公共部門）

受賞理由：白山の稜線に見立てたサインから、白山眺望が感じられる施設ということが来場者にメッセージとして伝わってくる。建物とのデザインの融合性も高く、視認性を確保したほどよい存在感が印象的である。



▲トレインパーク白山

・知事賞（民間部門）

受賞理由：乳業らしく牛乳パック自体の形の造型となっており、格調高さや大胆さが素晴らしく、企業イメージがよく伝わる。また、白と青の色づかいが清潔感を印象づけ、建物・自立型広告物全体の統一感が良い。



▲ホリ乳業株式会社 金沢本社工場

4 おわりに

来年度も、本県のイメージアップにつながる、景観の創出に寄与する優れた「屋外広告物」の応募をお待ちしております。

【問合わせ先】

石川県土木部都市計画課

TEL:076-225-1759

E-mail:toshikei@pref.ishikawa.lg.jp

ラ ク ナ LAKUNAはくい オープン

1 はじめに

羽咋市では、「輝くはくい」の実現に向け、市の玄関口の一つであるJR羽咋駅周辺の整備を進めてきました。羽咋市にぎわい交流拠点（愛称：LAKUNAはくい）を核とし、市事業の市道羽咋101号線、都市計画道路川原町線に加え、県事業である都市計画道路南通り線、二級河川長者川の整備により、「駅」・「かわ」・「まち」が一体となった良好な空間を形成し、羽咋駅周辺と市全体の賑わい創出を図ることとしています。

2 事業概要

LAKUNAはくいは、羽咋駅西側の商業施設跡地を活用し、「羽咋の未来をともす、集い、ふれあう、賑わい拠点づくり」を基本コンセプトとした多様な人々の新たな交流が生まれるサードプレイスです。川、緑、広場と建物のテラス空間が立体的につながり、ランドスケープと建物が一体となることで、市民の活動領域がひろがり、多様な賑わいを創出していきます。



▲LAKUNAはくい外観

3 施設概要

所在地：羽咋市川原町テ 39 番地 1

敷地面積：5,415.87 m²／延床面積：2,728.44 m²

構造：鉄骨造 4階建て

主要施設：1階 図書カフェ・学習スペース

2階 屋内公園

3階 キッチンスタジオ、アートスタジオ
e スポーツスタジオ、ROOM

4階 多目的ホール



▲図書カフェ・学習スペース



▲屋内公園

4 竣工式

本年7月1日には、国や県をはじめとする多数の関係者ご列席のもと、LAKUNAはくいの竣工式が執り行われました。



▲竣工式の様子

5 おわりに

令和6年能登半島地震により被災された方々にも、LAKUNAはくいでゆったりと過ごしていただき、明日への活力につながることを期待しています。

【問合わせ先】

羽咋市総務部まちづくり課

TEL:0767-22-7192

E-mail: machi@city.hakui.lg.jp

トレインパーク白山（白山市立高速鉄道ビジターセンター）の整備

1 はじめに

本施設は、白山総合車両所を観光資源ととらえ、周辺地域の観光振興と新幹線技術のPR等について、全国モデルとして行うことを目的に整備し、令和6年3月13日にオープンしました。



▲施設外観

2 施設概要

この施設の外観は、緩やかな曲線の外壁によって新幹線のスピード感、精悍さを表現し、北陸新幹線のイメージカラーをアクセントに周辺環境にも調和した親しみやすいデザインとなっています。

1階には、北陸新幹線の台車、パンタグラフ、グランクラスのシートなどの実物部品や北陸新幹線W7系車両の運転台を再現した大型の運転シミュレーターなどを配し、北陸新幹線の技術や北陸新幹線白山総合車両所の仕事について体感し学ぶことができる「新幹線 学びと体感エリア」となっています。

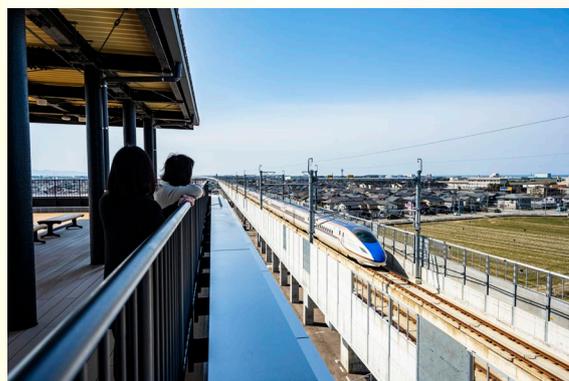
また、訪れた方々に白山市だけでなく、その周辺の能美市、野々市市、川北町の観光情報や特産品を紹介したり、新幹線グッズや施設オリジナル商品などを購入したりできる「観光情報おみやげエリア」があります。

3階には、霊峰白山をモチーフとした立体遊具や海の生き物が壁面を泳ぎ回り、手で触れると様々な動きが楽しめるデジタルアミューズメントなど、山から海までの自然をテーマにした絵本の中を電車で旅するような世界観を表現した「こども あそびエリア」があります。

さらに4階は、「新幹線 見学エリア」として、隣接する北陸新幹線白山総合車両所と専用の歩道橋でつながっています。専用の歩道橋からは、新幹線の迫力ある走行を間近に感じることができます。その先は、全国に6つある新幹線の車両整備工場の中で唯一、新幹線の整備作業の様子を工場の音や匂いを感じながら、常時見学することができる見学デッキへと続いています。タイミングが良ければ、5編成の新幹線が並ぶ姿や出入りする新幹線を見ることができます。

5階の「屋上 展望エリア」からは、眼下に新幹線が走り抜けていく様子を約10mの距離から眺めることができるだけでなく、日本三名山の一つである霊峰白山の雄大な姿や日本海を望むことができます。

鉄道ファンはもちろんのこと、子どもから大人までが遊んで学べる施設となっております。



▲屋上から走行する新幹線を見る

3 おわりに

本施設は、開業から4カ月で来場者10万人を達成するなど、連日にぎわいを見せております。この集客力を活かし、広域的な観光振興の拠点施設として、今後とも交流人口の拡大に努めてまいります。

【問い合わせ先】

白山市企画振興部交通政策課

TEL:076-274-9548

E-mail: koutsuutaisaku@city.hakusan.lg.jp

小松市安宅新地区土地区画整理事業 完成式

1 はじめに

本地区は、北陸の空の玄関口であり、国内外の航空物流の拠点となっている小松空港西側に隣接したエリアとなっています。

また、周辺には北陸自動車道の安宅スマートICや小松ICがあり、空港・小松駅間も約4.4kmと近接しており、「空路・陸路・鉄路」の交通網が集約された産業・物流拠点として絶好のエリアであることから、新産業団地を整備しました。



▲航空写真

2 事業概要

事業名：小松市安宅新地区土地区画整理事業

事業主体：小松市

事業手法：公共団体施行

施行面積：32.1ha

施行期間：令和2年度～令和5年度

総事業費：約47億円

施行後土地利用：分譲用地（工業）約17ha

主な公共施設：

(都)空港軽海線	L=951m
(都)木曾街道線	L=182m
区画道路	L=1,363m
公園	約1.0ha（4箇所）
緑地	約1.2ha（3箇所）
水路	L=1,221m
雨水調整池	約2.1ha（7箇所）

3 整備概要

整備前は、小松空港の周辺環境整備のため、防衛省所管の国有地と民有地が点在したエリアとなっており、新産業団地の整備が困難な状況となっていました。このため、整備手法に土地区画整理事業を活用することで、道路や造成地の再配置を行いました。

事業の経緯として、令和元年度より民有地の用地取得が開始され、令和2年度に土地区画整理事業の事業認可、令和3年度には工事が着工されました。令和5年3月には、エリアを縦断する都市計画道路が供用開始され、これまで朝の通勤時間帯で発生していた道路上の混雑が解消されました。

その後、令和5年度にはエリア内の新地番を付ける換地処分手続きを進め、令和6年6月2日に、国や県をはじめ多数の関係者ご臨席のもと、完成式を開催しました。



▲完成式の様子

4 おわりに

新産業団地の完成に先立って、令和5年度から企業誘致を進めた結果、大規模分譲地は全て完売し、進出企業の建設着工を待つばかりとなっています。

そして、北陸新幹線小松駅開業による新幹線と空港との相乗効果で、ビジネス誘致や企業進出が進むことを期待するとともに、次期産業団地の整備に向けて動き始めているところです。

最後に、本事業に多大なる尽力を賜りました関係各位に、心から感謝を申し上げます。

【問い合わせ先】

小松市都市創造部特定プロジェクト推進室

TEL: 0761-24-8100

E-mail: toshikei@city.komatsu.lg.jp

山中温泉菊の湯周辺整備事業について

都市再生整備計画事業（山中温泉地区）

1 はじめに

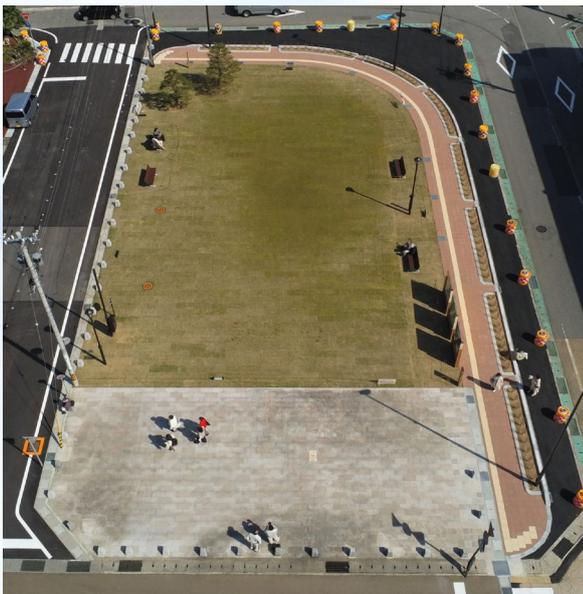
加賀市の山中温泉地区は、開湯から約1300年に及ぶ歴史を有し、山中漆器や山中節などの伝統文化のほか、鶴仙溪の美しい自然にふれあえる温泉地です。

まちなか周遊拠点と散策ネットワークの機能強化による賑わい創出を目的に、山中温泉街の核となる総湯（菊の湯）周辺の街並み整備を実施し、令和6年3月に完成しました。

2 事業概要

近年の消費者ニーズや旅行形態の変化、長引く景気低迷などにより、山中温泉を訪れる観光客数は平成3年の85万人をピークに平成30年には約半分にまで減少しました。また、観光客減少に伴い地区内の旅館数も半分にまで減少し、温泉街の各商店街は空き店舗が目立つようになっていました。

こうした中、温泉情緒と伝統文化にふれる周遊型観光まちづくりの推進を目標に掲げ、令和元年度から国の補助事業を活用し、行政・地元住民・観光業団体が一体となって、温泉街としての更なる魅力向上と賑わいづくりに取り組むことになりました。



▲菊の湯広場

事業期間：令和元年度～令和5年度（5年間）

事業範囲：加賀市山中温泉地区（28.0ha）

事業費：484百万円

整備内容：

【基幹事業】・散策路整備（湯の本町通り）

・広場整備

（山中温泉ししがしらんど、菊の湯広場）

・情報案内板整備

・公衆トイレ整備

【提案事業】・展示施設整備（大獅子展示施設）



▲山中温泉ししがしらんど



▲イベント開催の様子



▲大獅子展示施設

3 おわりに

本事業で整備した施設が、今後、山中温泉を訪れる観光客の回遊の拠点として、また地域住民の賑わい交流施設として大いに活用され、多くの方々に末永く親しまれることを心より期待しています。

【問合わせ先】

加賀市建設部都市計画課

TEL:0761-72-7925

E-mail:toshiseibi@city.kaga.lg.jp